

# 沖縄県平和祈念資料館だより

## 平和祈念資料館の果たす役割

20数万人の尊い命を奪い、美しい郷土を焦土と化した沖縄戦から30年後の昭和50年、県民個々の戦争体験を結集して沖縄県平和祈念資料館は設立されました。

平成12年に現在の資料館に新築移転しましたが、「沖縄戦の実相と沖縄戦で得た教訓を正しく次代に伝え、全世界の人々に平和を希求する沖縄の心を訴え、恒久平和の樹立に寄与する」という設立理念は昭和50年から変わることなく、当館の活動の原点です。当館の展示の特徴である「住民視点の展示」と「体験者の証言」により、沖縄戦の実相を正しく伝え、沖縄戦の教訓を伝える平和教育に力を注いできました。さらに、県内外はもちろん、世界に向けて平和の尊さを様々な形で発信してまいりました。その成果は、子どもたちの平和のメッセージ、学校現場や市民活動での平和教育の広がりという形で現れていると思います。

また、JICA理事長賞の受賞、外務大臣表彰は、平和活動による国際貢献が認められたもので、平和祈念資料館の活動の広がりのおかげであると思います。

この間、多くの方々のご理解、ご支援、ご協力をいただきました。県民の平和を希求する思いで設立された資料館は、同じように平和を希求する多くの方々に支えられて、その活動を続けることができ、感謝の念に堪えません。

しかしながら資料館の活動には、学芸員の採用、展示室のリニューアル、収蔵資料の調査研究等課題も多くあります。7年後の2025年には設立50周年を迎えます。その間、平和の発信・平和教育の拠点として、その役割をしっかりと果たせる資料館を目指して、職員一丸となって課題の解決に邁進してまいります。

平和を希求する思いで設立された沖縄県平和祈念資料館が、沖縄県民のみならず、世界の人々の平和を尊ぶ心の拠り所として発展できるよう、今後も県民はじめ多くの皆様に、これまで以上のご理解、ご支援、ご協力をお願いいたします。

沖縄県平和祈念資料館  
館長 原田直美

### 第28回 「児童・生徒の 平和メッセージ」

#### 図画部門最優秀賞作品



小学校低学年の部  
真壁小1年 たまき そつま  
「カラフルおひさま」



小学校高学年の部  
山内小6年 久場 小暖  
「平和への願い」



特別支援学校の部  
山田小6年 アーネットアディー  
「戦争と平和」



中学校の部  
砂川中3年 池間 暖  
「受け継ぐ思い」



高校の部  
具志川高3年 志慶真 まい  
「平和への賛歌、つなぐ緑のリボン」

## 第28回「児童・生徒の平和メッセージ展」報告

沖縄県教育委員会との共催で毎年実施している「児童・生徒の平和メッセージ展」は、今回28回目を迎え、125校から2,447点の応募がありました。戦後73年が経ち、沖縄戦の記憶の風化が危惧される中、それを敏感に感じ取り、今の自分に何ができるか、真摯に向き合った平和の想いが強く感じられる作品ばかりでした。また「今後とも平和の火種を守り続けていって欲しい」との審査員の思いを受け、平和教育の拠点としての責任の重さを感じました。



沖縄県平和祈念資料館の開会式テープカット



展示会の様子

宮古島市展示会では、昨年に引き続き、宮古島市教育委員会の共催のもと、宮古島市の協力を得て、宮古島市役所において展示会を開催しました。宮古島市展示会開会式では、優秀な作品の朗読を行ったほか、図画の作品に込めた想いについても語ってもらいました。



宮古島市展示会開会式のテープカット



記念撮影

沖縄県平和祈念資料館

6月23日(土)～7月6日(金)

八重山平和祈念館

7月13日(金)～7月22日(日)

宮古島市役所

7月31日(火)～8月9日(木)※平日のみ

県庁1階(県民ホール)

8月20日(月)～8月24日(金)

米国ハワイ州(ハワイコンベンションセンター)

9月1日(土)～9月2日(日)

# 第28回「児童・生徒の平和メッセージ展」入選者一覧(優良賞以上)

## 図画部門

### 小学校(低)の部(8名)

最優秀賞	たまき	そうま	(真壁小1年)
優秀賞	天久	小春道	(白保小3年)
	伊波	華琉音	(越來小3年)
優良賞	石川	日世里	(真喜良小3年)
	新里	昌己	(白保小3年)
	米盛	英甫	(白保小3年)
	ねま	いちか	(真壁小2年)
	佐伯	文香	(真喜良小3年)

### 小学校(高)の部(11名)

最優秀賞	久場	小暖	(山内小6年)
優秀賞	新里	木仁奈	(古蔵小6年)
	仲栄	真花	(中城小5年)
優良賞	濱崎	美海	(山内小6年)
	賀数	葵	(小禄小6年)
	大城	心珀	(神森小3年)
	喜納	かなん	(平真小6年)
	城間	界	(与儀小5年)
	加藤	七陽	(大謝名小5年)
	我如	古風歌	(大謝名小5年)
	赤嶺	優夏	(小禄小6年)

### 中学校の部(9名)

最優秀賞	池間	暖	(砂川中3年)
優秀賞	青田	妃依	(安岡中2年)
	田中	真心	(川平中2年)
優良賞	西川	耀渚	(砂川中3年)
	志良	愛莉	(仲西中2年)
	吉本	智咲	(宮里中3年)
	吉本	彩花	(宮里中3年)
	宮里	幸汰	(北谷中2年)
	屋我	未羽	(宮里中3年)

### 高等学校の部(9名)

最優秀賞	志慶	真ま	い	(具志川高3年)
優秀賞	又吉	兼風	花	(糸満高3年)
	大兼	すす	ず	(コザ高2年)
優良賞	新垣	垣江	里	(南風原高2年)
	赤嶺	耕平		(南風原高3年)
	浦崎	未羽		(具志川高3年)
	仲里	美海		(豊見城高2年)
	上原	秀輝		(コザ高1年)
	桑江	優季		(浦添工業高2年)

### 特別支援の部(7名)

最優秀賞	アーネット	アディー		(山田小6年)
優秀賞	上間	里帆		(宮森小6年)
	高江州	未来恵		(北谷中2年)
優良賞	仲村	すみれ		(北谷中2年)
	比嘉	泰芽		(宮森小3年)
	上運	天結		(森川特支小5年)
	金城	志		(美里小6年)

## 作文部門

### 小学校(低)の部

最優秀賞	
優秀賞	
優良賞	

### 小学校(高)の部(8名)

最優秀賞	宮川	晴主	(具志頭小6年)
優秀賞	大見	青空	(真和志小6年)
	翁長	花奈	(真和志小6年)
優良賞	玉寄	妃乃	(具志頭小6年)
	高見	秋寿	(真和志小6年)
	當山	慎之介	(真和志小6年)
	上地	栄達	(具志頭小6年)
	伊仲	清風	(具志頭小6年)

### 中学校の部(9名)

最優秀賞	玉城	美夢	(高嶺中3年)	
優秀賞	安仁	屋紫	月	(開邦中3年)
	相良	倫子		(港川中3年)
優良賞	江田	小夏		(具志川中3年)
	田中	智詩		(開邦中2年)
	金城	陽香		(開邦中1年)
	平良	太耀		(南風原中3年)
	古謝	心悠		(沖尚中2年)
	仲村	芭奈		(開邦中2年)

### 高等学校の部(8名)

最優秀賞	與座	萌加		(首里高3年)
優秀賞	渡具	知和	奏	(名護高2年)
	安田	応彦		(那覇国際高2年)
優良賞	上原	涼		(那覇国際高3年)
	花城	織衣		(首里高3年)
	濱川	彩衣		(那覇国際高3年)
	天久	聖菜		(首里高2年)
	仲里	彩乃		(那覇国際高2年)

### 特別支援の部(3名)

最優秀賞	外當	わかな		(沖繩高等特支2年)
優秀賞	中里	優衣		(島尻特支高2年)
優良賞	高原	けい		(美瑛特支はなさき分校中3年)

## 詩部門

### 小学校(低)の部(7名)

最優秀賞	半嶺	奏和		(宮良小1年)
優秀賞	上原	諒		(糸満南小1年)
	屋宜	和寿		(大名小2年)
優良賞	盛山	紗希		(宮良小1年)
	儀間	知海		(宮良小1年)
	野里	青良		(真喜良小3年)
	原	桃花		(美東小3年)

### 小学校(高)の部(9名)

最優秀賞	増田	ひまり		(真喜良小4年)
優秀賞	浦崎	心羽		(とよみ小6年)
	田村	晴		(大岳小6年)
優良賞	渡慶次	アニカ		(とよみ小6年)
	與古田	虹子		(宮城小6年)
	久手堅	心暖		(潮平小6年)
	永田	琉和		(宮城小6年)
	小林	和椛		(73-77小6年)
	今田	七菜		(とよみ小6年)

### 中学校の部(8名)

最優秀賞	相良	倫子		(港川中3年)
優秀賞	三留	伸子		(南風原中3年)
	池原	生恵		(港川中2年)
優良賞	上原	一路		(糸満中1年)
	比嘉	悠乃		(港川中3年)
	贊美	令		(港川中3年)
	仲栄	真愛		(港川中3年)
	平良	陽奈		(玉城中2年)

### 高等学校の部(9名)

最優秀賞	石川	幸夏		(首里高3年)
優秀賞	大浜	勇弥		(首里高3年)
	與那覇	もも		(宮古高3年)
優良賞	亀井	燎		(北部農林高3年)
	大城	陽菜		(八重山高2年)
	濱川	柊南		(首里高3年)
	前里	美優		(宮古高3年)
	座喜味	彩羽		(宮古高3年)
	宮國	桃子		(首里高3年)

### 特別支援の部(8名)

最優秀賞	渡具	知和	紀		(沖繩ろう学校高2年)
優秀賞	仲泊	厚志			(泡瀬特支中1年)
	松島	永美	斗		(真壁小3年)
優良賞	上原	美雨			(真壁小4年)
	石原	心菜			(沖繩高等特支2年)
	廣咲	輝龍			(鏡が丘特支中3年)
	新里	成瀬			(佐敷小3年)
	大石	知明			(沖繩高等特支2年)

## 平成30年度 第1回子ども・プロセス企画展「母と子が見た沖縄戦」

20数万人の人命を奪い去った沖縄戦の歴史的教訓を、正しく次の世代に伝えていくことを目的に、毎年慰霊の日の前後に子ども向けの企画展を開催しています。今年は、「母と子が見た沖縄戦」をテーマに、5月28日から7月10日の期間で開催しました。

「母と子」は、どんなことがあっても大切に守られるべき存在です。ところが73年前の沖縄戦では、多くの「母と子」が戦場を逃げまどい、傷つき死んでいきました。人びとの人間性を失わせ、尊い命や人権を踏みにじる戦争とは何なのかを、子どもたち一人ひとりが考える機会にするために、この企画展を実施しました。

展示内容は、「母と子」の体験を「北部への避難」「鉄の暴風」「ガマ・避難壕」「地獄の戦場」「捕虜、収容所へ」の5つのコーナーに分けました。体験者の証言文と自筆の絵を中心に展示し、関連する写真を組み合わせて理解が深まるようにしました。

今回は「母と子」に焦点をあてたことから、特に親子連れの方には身近に感じられたようで、平和を願う感想文をいくつもいただきました。



## 平成30年度第1回ギャラリー展

### 「戦世の“記憶”と“記録”」

今回のギャラリー展では、体験者が様々な思いを込めて描いた「沖縄戦の絵」を、描かれた場面に類似する、あるいは関連する米軍記録写真と合わせて展示しました。住民視点の「沖縄戦の絵」と、米軍視点の「記録写真」の双方の視点から沖縄戦を見ることで、戦争について、そして平和について、より深く考えてもらう場としました。

**【期間】平成30年6月7日(木)～8月29日(水)**



# 沖縄県平和祈念資料館 第19回特別企画展 「沖縄県民の戦争被害と次代への継承」

## 1. 開催場所および期間

沖縄県平和祈念資料館(1階企画展示室) 平成30年10月4日(木)～12月9日(日)  
八重山平和祈念館(第2展示室) 平成31年1月19日(土)～2月24日(日)

## 2. 趣旨

1945年の沖縄戦では、12万人余の沖縄県民が無残に死んでいきました。また、「鉄の暴風」によって町や村は破壊され、焼け野原となりました。さらに、終戦後も米軍は県民の土地を奪い続け、からくも生き残った人びとを収容所の中に押し込みました。そして、米軍による支配という沖縄県民の苦難は、その後27年間も続きました。

戦後70年以上が経過し、沖縄戦の悲劇と戦後の苦難を乗り越えてきた体験者の方々は少なくなっています。これからは、戦争を体験していない世代が、体験者の方々から受け継いだ戦争の悲惨さと平和の尊さについて、次の世代に伝えていく大切な役割を担っています。そのためには、歴史の教訓を真摯に学んでいかなければなりません。

しかし、沖縄戦があまりにも悲惨であったため、県外で戦争に巻き込まれた方々が自らの体験を積極的に語るができなかったと言われていました。同じように、沖縄戦を生き延びたものの戦火に傷つき障害者となった方や孤児となった方なども、その体験が十分に記録されているとはいえません。住民の視点で戦争の実相を明らかにしていくためには、できるだけ多くの人びとの体験をふまえ、総合的に理解していく必要があります。

今回の特別企画展では、戦争によって沖縄県民がどのような被害を受けたのかを中心に展示します。戦争がおこると犠牲になるのは一般住民であるという事実を、展示を通して再確認していただきたいと思えます。そして、戦争の体験や教訓を私たちがどのように継承していけるのが、一人ひとりが考える機会とします。

## 3. 展示の構成

### 第1部 打ち砕かれた沖縄

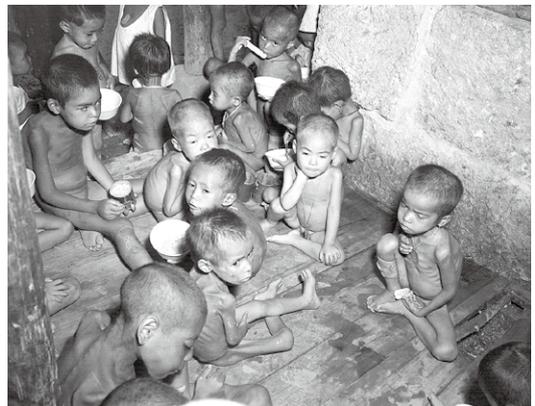
1. 沖縄戦前夜
2. 沖縄戦
3. 破壊と殺戮

### 第2部 沖縄県民の戦争被害

1. 戦没者
2. 遺族
3. 戦争孤児
4. 戦傷病者
5. 物的被害

### 第3部 次代への継承

1. 今なお解決されない戦争の被害
2. 沖縄戦の継承
3. 平和のメッセージ



戦争孤児



遺骨収集(終戦直後)

## 慰霊の日の平和祈念資料館

6月23日（土）慰霊の日には、沖縄県主催の沖縄全戦没者追悼式が行われました。毎年この日は常設展示室の観覧を無料開放し、開館を午後6時まで1時間延長しています。

今年は、6,682人が来館し、常設展示室には3,333人の観覧者が入場しました。その他館内では「児童・生徒の平和メッセージ展」、「第1回子ども・プロセス企画展：母と子が見た沖縄戦」、「慰霊の日ビデオ上映会」、「マブニ・ピースプロジェクト 沖縄 2018」「第1回ギャラリー展：戦世の“記憶”と“記録”」と多彩なイベントが開催され、平和への願いを新たにする日となりました。



## 友の会活動状況

1 沖縄県平和祈念資料館友の会（平成17年設立）では、資料館と連携しながら学習会やフィールドワークを自主的に行うとともに、以下のような活動を行っています。

- (1) 地域（県全域）および学校における平和学習の支援
- (2) 県外からの平和学習団体への平和講話・ガイド
- (3) 沖縄県平和祈念資料館常設展示室での解説

2 活動状況（平成30年4月から6月30日現在）

- (1) 平和講話・ガイド実績

団体	実施件数（昨年度比）	実施人数（昨年度比）	派遣講師（昨年度比）
高等学校	20件（+3）	5,284名（-985）	20名（+3）
中学校	40件（-11）	6,386名（-3,511）	53名（-23）
小学校	21件（+2）	10,176名（+1,883）	21名（+1）
その他	12件（+4）	252名（+105）	15名（+7）
合計	93件（-2）	22,098名（-2,508）	109名（-12）

県内：小学校20校、中学校10校、高校5校

県外：小学校1校、中学校30校、高校15校

- (2) 常設展示室解説委員 配置実績15人
- (3) 平和祈念財団こいのぼり掲揚事業への協力
- (4) 平成30年度 友の会総会 5月12日（土）
- (5) 学習会：平和学習ウォーク 5月19日（土）

「浦添城間アイテムポケットとマチナト飛行場」

講師：仲村 真氏

証言者：仲西 富士子氏（当時12歳）



平成30年度友の会総会の様子

# 八重山平和祈念館 平成30年度 事業実施報告

## (1) 「しまの戦争の記憶～悲しみを乗り越えて～」

【期間】 平成30年6月2日（土）～7月1日（日）

石垣島に存在する忠魂碑・慰霊碑・戦争遺跡のパネルを展示するとともに、戦争マラリア体験者の証言を紹介しました。

当企画展は、平和学習で来館された児童・生徒をはじめ多くの方々に対し、石垣島の戦争の爪痕を伝え、平和について考える機会を提供する場となりました。

訪れた方々からは「八重山の戦争の特別な意味がわかった、これらのいくつかの場所を訪ねてみたい」「マラリアで多くの方が亡くなり、残された方が悲しみ苦しみを耐えて今日まで生きてこられたと、心が苦しくなった」等の感想が寄せられました。



## (2) 「慰霊の日アニメビデオ上映会」

【期間】 平成30年6月23日（土）

6月23日の慰霊の日に、戦争に関するアニメの上映会（上映作品『石の声』『最後の空襲くまがや』）を実施しました。お子さん、親子連れの方々が鑑賞のため足を運ばれました。

また、当日は常設展示も無料観覧となり、多くの方々が展示をご覧になりました。



## (3) 「児童・生徒の平和メッセージ展」八重山会場

【期間】 平成30年7月13日（金）～7月22日（日）

八重山会場では、八重山地区の入選作品25点（図画17点、作文2点、詩6点）を含む作品の展示を行いました。

開会式典では、八重山地区入選者による詩の朗読、関係者及び児童生徒によるテープカットが行われました。

展示会場には、地域の児童生徒や入選者のご父兄の方々等が足を運ばれ、熱心に作品をご覧になりました。



## 平成30年度 外務大臣表彰受賞について

平成30年7月24日、当資料館は、外務大臣表彰を受賞致しました。JICA草の根技術協力事業により、カンボジアの国立トゥールスレン虐殺博物館に対して、平和文化の創造や平和発信を行う博物館作りへの協力及び教育普及にかかる人材育成への支援を通じた国際貢献を評価して頂いての受賞です。引き続き国内外において、平和の発信に関する活動への支援を行っていきたいと考えております。今後とも当資料館活動へのご理解とご協力を宜しくお願い致します。



子ども生活福祉部大城部長へ受賞報告(写真右)

## 県内学校向け平和講話について

沖縄戦の歴史的教訓を次代へ正しく伝えることが急務となっています。当館では沖縄戦の理解と平和のために何ができるかを考えるきっかけになるよう、県内の小中高校、特別支援学校に対する「平和講話」を実施しております。内容は、沖縄戦に至るまでの歴史的経緯や沖縄戦の特徴、常設展示室の見所紹介などです。総合学習等の一環としてさらなる活用をお願いします。また、県内の離島・国頭地区の小中高校、特別支援学校においては「離島・遠隔地講師派遣事業」を実施しております。詳細については、当館のHPや電話でお問い合わせ下さい。

年間を通して平和講話を実施しておりますが、4月から慰霊の日にかけては混み合いますので事前のご予約をお願い致します。



平和講話実施の様子(高等学校)

### ○平和講話実績(平成30年4月～6月)

団体	実施件数(昨年度比)
小学校	62件(-2)
中学校	15件(+4)
高等学校	12件(+6)
特別支援学校	4件(+2)
その他	2件(+1)
合計	95件(+11)

### 大学連携事業について

- 沖縄大学 吉井ゼミ平和学習 ※学生12名参加
  - (1) 期日：平成30年6月3日(日) 13:30～16:30
  - (2) 内容：平和講話、常設展示室見学、フィールドワーク(平和の礎、戦跡等)
- 当館来館による平和学習や、当館職員派遣による出張講話を随時実施しています。
  - 大学生のみならず、大学生の視点で平和な社会を構築するために必要なものをもとに考えてみませんか。

### 資料のご提供について

戦後73年を迎え、戦争を知らない多くの戦後世代へ、二度とおこしてはならない戦争の教訓を語り継いでいかなければなりません。そのためには、戦前、戦中、戦後の資料等が重要な役割を果たしていくことになります。このような資料をお持ちの方、是非ご寄贈下さいますよう、御協力お願い致します。詳しくは、沖縄県平和祈念資料館までお問い合わせ下さい。

### 資料の貸出しについて

当資料館では、「沖縄戦体験者証言ビデオ」、「沖縄戦写真/パネル」、「沖縄戦の絵」、「実物資料」、「平和学習キット」の貸出しを行っています。平和学習の補助教材として、県内外学校等からの申込みをお待ちしております。

編集・発行：沖縄県平和祈念資料館

住所 〒901-0333 沖縄県糸満市摩文仁614番地の1 TEL 098-997-3844 FAX 098-997-3947  
URL <http://www.peace-museum.pref.okinawa.jp/> E-MAIL [webmaster@peace-museum.pref.okinawa.jp](mailto:webmaster@peace-museum.pref.okinawa.jp)



日本平和博物館会議  
ASSOCIATION OF JAPANESE MUSEUMS FOR PEACE